



宝塚第一中学校の風

～ みんなでつくる みんなの学校 一中 ～

令和3年(2021年)3月1日 発行

卒業へ…高き「志」と「誇り」を胸に

【校長：田川隆司】

「宝塚第一中学校」という名前を聞いて、「第二は無いの?」「宝塚中学校とどこが違うの?」と思われた方は少なくないでしょう。長い歴史の中で、母校として巣立った何人がこの学校の名前の元となる出来事を知っているのかはわかりませんが、コロナ禍での臨時休校なる歴史的出来事の中で一年間を過ごし、まもなく卒業を迎える3年生たちに是非知ってもらいたいことです。(もちろん1・2年生も)



本校は戦後の昭和22年4月に新制中学校として開校しています。

しかし、この時の名称は「良元村立宝塚第一中学校」。そう、まだ「宝塚市」ではないのです。戦後の宝塚は「小浜村・良元村・長尾村・西谷村」の四村からなり、急激に宅地が増え人口増加に伴う財政強化や教育環境等の充実のため「小浜村」がまず「宝塚町」になり、ついで「宝塚町」と「良元村」が昭和29年4月1日に合併し「宝塚市」となりました。さらに遡(さかのぼ)ると武庫川を挟むこの地域は、大正時代(「鬼滅の刃」の時代)初期には温泉を中心とした街が形成され、良元村伊子志より分離した旧温泉地区の良元村宝塚が新温泉地区の小浜と度々合併の話はあったものの、両者を結ぶ武庫川は一度豪雨で氾濫すると橋梁を失うなど困難を極めていたそうです。(因みに「逆瀬川」は武庫川の氾濫時に逆流するからその名がついたとされています。)そんな中、戦後の町村合併時には鳴尾地区が尼崎市と西宮市との狭間で揺れ動いたと同時に、良元村も一度は小浜村(宝塚町)と合併して「宝塚市政」を施行することを村民投票で決めましたが、政治的ゴタゴタで西宮市と合併する議案が出てしまい、再び村民投票を行った結果、やはり宝塚市をつくる方向に戻っていきました。その時、良元村長で尽力された岡田幾さんは、著名な俳人であり全国で初めての女性村長だった人です。

その後は、昭和30年3月に長尾村、西谷村を編入することに至りましたが、合併前に設立したその当時の中学校は「小浜村立宝塚中学校」いまの宝塚中と「良元村立宝塚第一中学校」いまの本校の2校が、それぞれ宝塚市立中学校になったのです。本校開校時は小林西山(今の西山小学校)に建てられましたが、生徒激増に伴い昭和36年に宝梅中学校を分離開校することとなり、本校は鹿塩高丸1-644(今の「うぐいす台」)に新築移転するが決定され、昭和43年に竣工されました。なお、本校の校歌が春夏秋冬に分かれた四番までであるのと同時に三番の秋が短調になっているのも稀なる校歌として誇りに思っています。この歌詞に出てくる「宝梅園」「紅葉谷」なる地名は、開校当時の景色に由来するものが見受けられますね。

保護者の皆様におかれましては3年間、本校の教育に多大なるご理解ご支援をいただき本当にありがとうございました。とりわけ昨年3月3日から始まった「臨時休校」は彼ら3年生の学校生活を一変させました。あらゆる学校生活がストップし、家庭を中心にしたステイホームによる「自粛生活」に伴う環境変化の中、多感な時期の子育てはたいへんだったこととご推察いたします。しかしながら、彼らの心に保護者の皆様と一緒に蒔いた“種”は、いま少しずつですが芽を出そうとしています。その芽の成長を楽しみながら、もう少しだけ手をかけ育てていきましょう。そして、本校へ通学する子がいなくても、今後とも本校に在学し、この「うぐいす台」に通う生徒たちを、地域の一員として温かく見守って下されば幸いです。本当にありがとうございました。

日	曜	学校行事		日	曜	学校行事	
1	月	全校集会	志願変更	17	水	3年生を送る会	卒業式準備
2	火	特別支援学校発表	生徒会各部委員会	18	木	第74回「卒業証書授与式」	
3	水		職員会議	19	金	公立高校一般合格発表	
4	木			学年末個人懇談(1・2年生)			
5	金			20	土	春分の日	
6	土			21	日		
7	日			22	月		
8	月			23	火	給食最終日(1・2年)	
9	火			24	水	大掃除	
10	水		口座引落日	25	木	3学期修業式	職員会議
11	木	学習室お別れ会	一般入試事前指導	26	金	春季休業(~4/6)	口座再引落日
12	金	公立高校一般入試		27	土		
13	土		(一部13日も)	28	日		
14	日	新1年生 制服等物品販売日(体育館9:00~)		29	月		
15	月	安全の日	3年生お別れ校外学習	30	火		
16	火	卒業式予行(3年給食最終日・大掃除)		31	水		

◎4月中の主な行事

- ・新入生登校日(6火)
- ・実力テスト<2・3年>(12月)
- ・着任式/令和3(2021)年度第1学期始業式(7水)
- ・離任式(未定)

「みんなでつくる みんなの学校 一中」をつなぐのは、そこにいる「あなた」

さて、1、2年生の皆さん、先輩から受け継いだことをもとに、次は皆さんがこの「一中」を背負って立つ番です。先輩たちに負けない「誇りある学校」をつくっていきましょう。

3月12日(金)「公立一般入試」
頑張れ！ 一中生！！



☆ 最終下校時刻【 18:00 】

3月からは、最終下校時刻が【 18:00 】になります。

部活動の時間は夏時間となりますが、決して寄り道などをしないで、まっすぐ自宅に帰りましょう。(まだまだ、帰り道も「マスク」を忘れない心遣いを！)

☆ 「学校関係者評価」の結果について

2月15日（月）本校関係者の方々（学校評議員、PTA役員代表）に本校「学校評価」についてご意見をいただく「学校関係者評価委員会」を開催いたしました。厳しく、そして温かく見守っていただいている方々からの貴重なご意見として、今後の取り組みに活かしていきたいと考えます。以下、宝塚市教育委員会へ報告する結果についてお知らせいたします。

<開かれた学校づくりについて>

- ・コロナ禍で「開けない」今は、HP等の活用が欠かせない。日々情報を発信していただくのはありがたいが、これからはオンライン化など学校と保護者・地域との関わり方に工夫が必要ようになっている。

<生徒指導>

- ・宝塚市として体罰等不祥事が続く中、学校や先生が嫌で不登校になる生徒が心配される。コロナの影響がある中、見直すべきところは見直し、家庭環境・背景に注意しながら改善に努めてほしい。

<基礎基本の定着について>

- ・臨時休校があったものの授業時数の確保はでき、落ち着いた雰囲気の中で授業ができています。生徒のやる気を育むために、個別によく声をかけていただいている。

<特別活動について>

- ・達成感と自信や責任を生み出す学校行事がほとんどできず残念であった。しかしながら、それに見合う行事が行われたことも評価できる。新たな学校行事の工夫に期待する。

<体験活動の充実について>

- ・学びの集大成である「修学旅行」だけでなく「トライやる・ウィーク」や「文化発表会」など多くの体験活動が縮小または中止となったが、主旨に沿って達成感を得られるよう頑張つてほしい。

<特別支援教育について>

- ・支援の必要な生徒が多くなっているが、丁寧に支援をしている。個別指導や合理的配慮に基づいて、支援や介助方法など共通理解を深め、今後も支援のための環境づくりに努めてほしい。

<部活動について>

- ・晴れやかな成績よりも3年間継続している仲間づくりが評価できる。活動自体が難しくなったが、自主性を育み、たくましい心身に加え、豊かな感性も育んでくれると期待したい。

<教員の資質向上について>

- ・体罰をはじめ暴言や指導の在り方について、かなりの研修を行ったが信頼回復にはまだまだ厳しい。生徒への熱心な取り組みには、教職員の一体感が感じられ、切磋琢磨する姿が生徒にも伝わるはず。

【総合的な学校関係者評価】

不登校生への取り組みや配慮の必要な生徒が多く悩まれているが、各家庭と繋がっているという信頼関係が保たれていることは有り難い。臨時休校の影響も多い中、工夫した行事や生徒会活動をはじめ、少しずつ活気を取り戻しつつある学校生活で落ち着いた学習環境が保たれていることは評価できる。と、ありがたい言葉をいただいた。

【市教育委員会への要望】

コロナ禍で顕著になった教師の量的な支援の充実、職務の簡素化など、質・ハード両面において余裕ある環境を望む。また、武道の安全と有意義な指導、「避難所」としての機能を果たすため、財政上凍結された「武道場」の早期建設を強く望む。さらに、生徒の立場に立った施設（プールの更衣室と屋外トイレ）整備も学校との連携を十分に図りながら、市の優先課題として取り組んでもらいたい。